

課外ゼミ活動報告

現代小説研究会

顧問・指導者 倉田容子
 人員七名 報告者 野平葵

〔活動報告〕

本年度現代小説研究会では一年生二人を加え活動を開始した。

前期は、コロナウィルスの影響による学内使用禁止及びオンライン授業の影響により活動を行うことができなかったが、夏休みからオンラインミーティングで活動を再開した。

題材は二年生の発表者が各々自由に選択した。九月に川端康成『愛する人達』より「夜のさいころ」、十月には『短編伝説』めぐり合い』より大沢在昌「Wednesday」、十一月には一年生を迎えての初の研究会としてサリンジャー『ナイン・ストories』より「小舟のほとり」を扱った。

秋に行われる学祭では、有志の会員による研究会の会誌「ストレイシープ」を作成した。本年度は四作の短編をオンラインで行われた学祭において、資料掲載という形で公開した。

文学散歩サークルかちかち山

顧問・指導者 近衛典子
 人員十五名 報告者 大島和

〔活動報告〕

文学散歩サークルかちかち山では、学生がそれぞれ企画をし、しおりを作成した上で、文学ゆかりの地や博物館、寺社、史跡などへ赴き、文学や歴史への理解を深めるべく活動を行っている。

本年度は、新型コロナウィルスの影響で、実際に活動を行うことはできなかった。後期のはじめにはオータムフェスティバルに参加し、本サークルの紹介を行った。

来年度に向けて、対面での活動においては、少人数のグループにわかれて行うなど工夫をしていきたい。また、対面のみならず、オンラインでできることも模索していきたい。

日本語史研究会 活動報告

顧問・指導者 土井光祐
 人員十一名 報告者 高瀬清太郎

〔活動内容〕

本年度は、活動の場をオンラインに移して、会員相互の日本語史の知見を深めた。

主要な行事としては、四年生の卒業論文中間発表会と、卒業論文・就職活動・大学生活などについての情報交換会とを開催した。

従来のように教場に集まって日本語史資料を輪読する活動はできなかったが、オンラインによって、大学に向く必要がなくなり、時間的制約も大幅に軽減されることになったため、在学生も参加しやすくなり、遠方在住のOB・OGの方々の参加も可能となった。在学生にとってはなかなか今後の見通しを立てるための情報が得にくい中で非常に有意義な時間となったのではないかと思う。

来年度は、オンラインでの活動をさらに活発にして、本来の日本語史に関する研究活動はもちろん、様々な情報交換の機会を増やしていきたい。

中世文学研究会

顧問・指導者 櫻井陽子

人員五名 報告者 村越すみれ

〔活動内容〕

中世文学研究会では、『平家物語』を中心として、中世の軍記物語の理解を深めることを目標に活動を行っている。

昨年度の活動では、『平家物語』から取り扱う章段を決め、担当者が用意した資料をもとに複数のテキストを読み比べた。

一般的によく知られている「覚一本」とその他のテキストの違いに触れ、発見や疑問点などを出し合い、『平家物語』や歴史についての知識を共有した。

本年度は、新型コロナウイルスの影響で活動を行うことができなかった。今後は会員の状況を考慮しながら、工夫して活動を行えるようにしていきたい。